

大里広城市町村圏組合監査委員公告第1号

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定に基づき定例監査を実施し、同条第9項の規定によりその結果に関する報告を決定したので、別添のとおり公表する。

令和6年12月25日

大里広城市町村圏組合監査委員 富 井 晴 夫

原 口 孝

令和6年度

定例監査結果報告書

大里広域市町村圏組合監査委員

1 監査の種類

大里広域市町村圏組合監査基準第2条第1項第1号に掲げる監査

2 監査の対象

(1) 対象課

総務課 介護保険課 業務課 建設準備課 会計課

(2) 対象事務

令和5年4月1日から令和6年7月31日までににおける財務に関する事務の執行及び行政事務

3 監査の着眼点

リスクを考慮し、事務の執行が関係法令、規定等に準拠し、適正で効果的かつ効率的に行われているか関係書類を調査するとともに、関係職員から説明を聴取するなど監査手続を通じて検証することを目的とし、監査の着眼点を以下のとおりとした。

(1) 収入事務 ① 必要な手続は行われているか

② 収入に係る時期は適正か

③ 紛失・盗難のリスクはないか

(2) 支出事務 ① 必要な手続は行われているか

② 適正な支出となっているか

(3) 契約事務 ① 安易な随意契約を採用していないか

② 必要な手続は行われているか

(4) 財産管理 ① 備品台帳は整備されているか

(5) その他 事務事業の執行において、経済性、効率性及び有効性に問題はないか

4 監査の主な実施内容

リスクを考慮し、事務の執行が関係法令、規定等に準拠し、適正で効果的かつ効率的に行われているか関係書類を調査するとともに、関係職員から説明を聴取した。

5 監査の実施場所及び期日

(1) 監査の実施場所

大里広域市町村圏組合曙町事務所 大会議室
熊谷衛生センター 会議室、事務室

(2) 監査の期日

令和6年9月26日、10月3日

6 監査の結果

今回監査を実施したところ、事務の一部に次のとおり改善を要する事項が見受けられたので、その措置を講じられたい。

(1) 収入事務
指摘事項なし

(2) 支出事務
指摘事項なし

(3) 契約事務
指摘事項なし

(4) 財産管理

パソコンの管理に関して、セキュリティワイヤーによる固定が未対応であった。盗難防止の観点から、大里広域市町村圏組合情報セキュリティポリシーの規定に基づき適正に対応すべきである。【業務課・建設準備課】

(5) その他

可燃ごみの処理について、ごみピット内での可燃ごみの積み上げが見受けられた。施設を安全かつ安定的に運用するため、適正に対応することを望むものである。

【業務課】

焼却灰の搬出設備（灰ピット）について、飛散の可能性があることから、施設を安全かつ安定的に運用するため、適正に対応することを望むものである。【業務課】

介護保険の相談業務について、外部からの苦情等に関し、カスタマーハラスメントに対する体制づくりを進めるとともに、防犯機器の導入も含めて安全対策を講じることを望むものである。【総務課・介護保険課】

なお、事務処理上留意すべき事項のうち、軽微なものについては、監査実施の際、関係職員に口頭で改善の指導を行った。

7 意見

今回の監査は実施基準であるリスク・アプローチの視点から、被監査部署で重要リスクと認識している各項目を監査対象とするとともに、前回監査の指摘

事項のフォローアップを行った。

前回監査で指摘した事項については、概ね改善済を確認できたが、地方自治体の各業務の基本的かつ根幹となる重要な手続である文書収受等について、徹底されていない面が確認されたので、職員一人ひとりがその重要性について共通認識を持つとともに、組織としてチェック体制の強化を要望するものである。